

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 株式会社シーボン 上場取引所 東
 コード番号 4926 URL <https://www.cbon.co.jp/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 犬塚 雅大
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 執行役員 (氏名) 三上 直子 TEL 044-979-1234
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,130	—	150	—	176	—	85	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 71百万円（-％） 2019年3月期第2四半期 -1百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.97	19.95
2019年3月期第2四半期	—	—

（注）当社は、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第2四半期の数値及び対前期増減率並びに2020年3月期第2四半期の対前期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,794	9,476	80.3
2019年3月期	11,702	9,486	81.0

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 9,471百万円 2019年3月期 9,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00			
2020年3月期（予想）			—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,953	3.3	258	2.7	304	0.7	147	5.5	34.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,281,200株	2019年3月期	4,277,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	539株	2019年3月期	489株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,279,207株	2019年3月期2Q	4,098,342株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料の入手方法）

当社は、2019年11月18日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料及び動画については、開催後速やかに当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費が持ち直す等緩やかな回復が続いているものの、海外経済の不確実性や10月に実施された消費税増税の影響等、景気を下振れさせる懸念材料も多く存在しており、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社は、「新たなシーボンへ革新と挑戦」を経営指針とする2018年3月期から2020年3月期までの中期経営計画を進行し、「新たなお客様の開拓」「現場力の向上」「より強いブランドへ」という3つの重点課題に取り組んでおります。中期経営計画の最終年度となる2020年3月期は、計画を着実に実行し、企業体質の強化を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、長期的成長を目指し、新規顧客に対する販売活動の改革を進めてまいりました。集客活動においては、ブライダル等女性と関わりの深い企業・団体への営業活動を強化しイベントプロモーションを展開するとともに、Webマーケティング等の強化を図り、新たな集客の柱として育成しております。また、「ホームケア+サロンケア」という独自の美肌システムの認知、理解促進を図るための一貫した情報を発信することに加え、集客ツールの刷新や新規顧客向けの化粧品セットを用意する等新規顧客にとって理解しやすい、始めやすい環境の整備に注力しております。しかし、スタッフの教育を含め新たな販売体制の構築に向けて移行途上であることにより、新規来店者数及び既存顧客の継続数が減少いたしました。

研究開発活動においては、製品やサービスの付加価値を高めるため、エビデンスの収集等外部研究機関との連携を強化し学会発表を行う等、研究開発力の向上を図っております。

製品におきましては、新たに下記の製品を発売いたしました。

- ・4月：美白スキンケアライン『ホワイト』シリーズより、薬用美白化粧水『クリアローション』、薬用美白美容液『フレッシュセラム』、薬用美白クリーム『モイスチャークリーム』がバージョンアップ。明るく印象の肌へ導く薬用クレンジングクリーム『トリートメントマセ』、クリーミーな泡でクリアな素肌へ導く薬用洗顔料『クリアウォッシュ』が新発売。
- ・5月：紫外線等によるダメージ肌に働きかけるサロン用スペシャルケアセット『SPA04』を期間限定発売。
- ・6月：おいしく体をサポートする酢飲料『酵素美人』シリーズより、『酵素美人-緑』（キウイフルーツ味）、『酵素美人-赤』（ピンクグレープフルーツ味）、『酵素美人-桃』がバージョンアップ。
- ・8月：真夏の肌環境を整えるスペシャルケアセット『SPA BG』と『パックセット BG』を期間限定発売。

以上の販売活動を実施したことにより、消費税増税前の駆け込み需要の影響はあったものの、直営店舗における売上高は5,854,342千円（前年同期比3.1%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,130,361千円、営業利益150,757千円、経常利益176,858千円、親会社株主に帰属する四半期純利益85,456千円となりました。

※ 継続数

：1カ月に1回以上来店のあるお客様ののべ人数

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,679,831千円となり、前連結会計年度末に比べて85,851千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比172,230千円減）、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末比284,106千円増）によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は6,114,406千円となり、前連結会計年度末に比べて6,284千円増加いたしました。その主な要因は、建物及び構築物の減少（前連結会計年度末比24,422千円減）、その他有形固定資産の増加（前連結会計年度末比36,124千円増）によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,810,710千円となり、前連結会計年度末に比べて70,062千円増加いたしました。その主な要因は、買掛金の減少(前連結会計年度末比40,752千円減)、未払法人税等の増加(前連結会計年度末比62,865千円増)、その他流動負債の増加(前連結会計年度末比53,727千円増)によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は507,268千円となり、前連結会計年度末に比べて31,828千円増加いたしました。その主な要因は、長期借入金の増加(前連結会計年度末比23,200千円増)によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,476,258千円となり、前連結会計年度末に比べて9,755千円減少し、自己資本比率は80.3%(前連結会計年度末は81.0%)となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少(前連結会計年度末比12,796千円減)によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ172,231千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2,692,328千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は55,594千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益175,505千円、減価償却費145,176千円、売上債権の増加284,145千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は174,775千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出128,704千円、無形固定資産の取得による支出66,644千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は52,608千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入29,000千円、配当金の支払額84,668千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日付「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,479,571	3,307,340
受取手形及び売掛金	919,686	1,203,793
商品及び製品	378,249	389,613
仕掛品	67,446	79,183
原材料及び貯蔵品	459,655	437,042
その他	289,655	263,161
貸倒引当金	△283	△303
流動資産合計	5,593,979	5,679,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,455,810	2,431,388
土地	1,385,337	1,385,337
その他(純額)	360,228	396,352
有形固定資産合計	4,201,375	4,213,078
無形固定資産	150,816	168,163
投資その他の資産		
その他	1,778,929	1,756,165
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,755,929	1,733,165
固定資産合計	6,108,122	6,114,406
資産合計	11,702,102	11,794,237
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,243	63,491
1年内返済予定の長期借入金	-	5,800
未払法人税等	85,422	148,288
ポイント引当金	490,979	481,996
資産除去債務	4,374	1,779
その他	1,055,627	1,109,355
流動負債合計	1,740,647	1,810,710
固定負債		
長期借入金	-	23,200
資産除去債務	326,482	333,029
その他	148,957	151,039
固定負債合計	475,440	507,268
負債合計	2,216,087	2,317,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	480,746	483,930
資本剰余金	364,646	367,830
利益剰余金	8,418,051	8,417,967
自己株式	△1,104	△1,232
株主資本合計	9,262,340	9,268,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,944	208,148
為替換算調整勘定	△3,451	△5,045
その他の包括利益累計額合計	217,492	203,102
新株予約権	6,180	4,660
純資産合計	9,486,014	9,476,258
負債純資産合計	11,702,102	11,794,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,130,361
売上原価	1,364,352
売上総利益	4,766,008
販売費及び一般管理費	4,615,250
営業利益	150,757
営業外収益	
受取利息	98
受取配当金	2,279
受取家賃	15,144
その他	8,692
営業外収益合計	26,215
営業外費用	
支払利息	33
社宅等解約損	69
その他	11
営業外費用合計	113
経常利益	176,858
特別利益	
固定資産売却益	2,272
投資有価証券売却益	2,377
新株予約権戻入益	850
特別利益合計	5,501
特別損失	
固定資産除却損	6,853
特別損失合計	6,853
税金等調整前四半期純利益	175,505
法人税、住民税及び事業税	113,806
法人税等調整額	△23,756
法人税等合計	90,049
四半期純利益	85,456
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	85,456

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益		85,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△12,796
為替換算調整勘定		△1,594
その他の包括利益合計		△14,390
四半期包括利益		71,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		71,065
非支配株主に係る四半期包括利益		-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	175,505
減価償却費	145,176
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△8,983
受取利息及び受取配当金	△2,377
支払利息	33
為替差損益(△は益)	△1,311
固定資産除却損	6,853
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,272
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,377
売上債権の増減額(△は増加)	△284,145
たな卸資産の増減額(△は増加)	△608
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,767
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,933
その他	63,001
小計	79,680
利息及び配当金の受取額	2,377
利息の支払額	△33
法人税等の支払額	△26,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△315,011
定期預金の払戻による収入	315,010
有形固定資産の取得による支出	△128,704
無形固定資産の取得による支出	△66,644
投資有価証券の売却による収入	3,540
敷金及び保証金の差入による支出	△5,085
敷金及び保証金の回収による収入	536
保険積立金の解約による収入	26,714
その他	△5,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	29,000
自己株式の取得による支出	△128
配当金の支払額	△84,668
ストックオプションの行使による収入	5,698
その他	△2,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△441
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△172,231
現金及び現金同等物の期首残高	2,864,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,692,328

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。